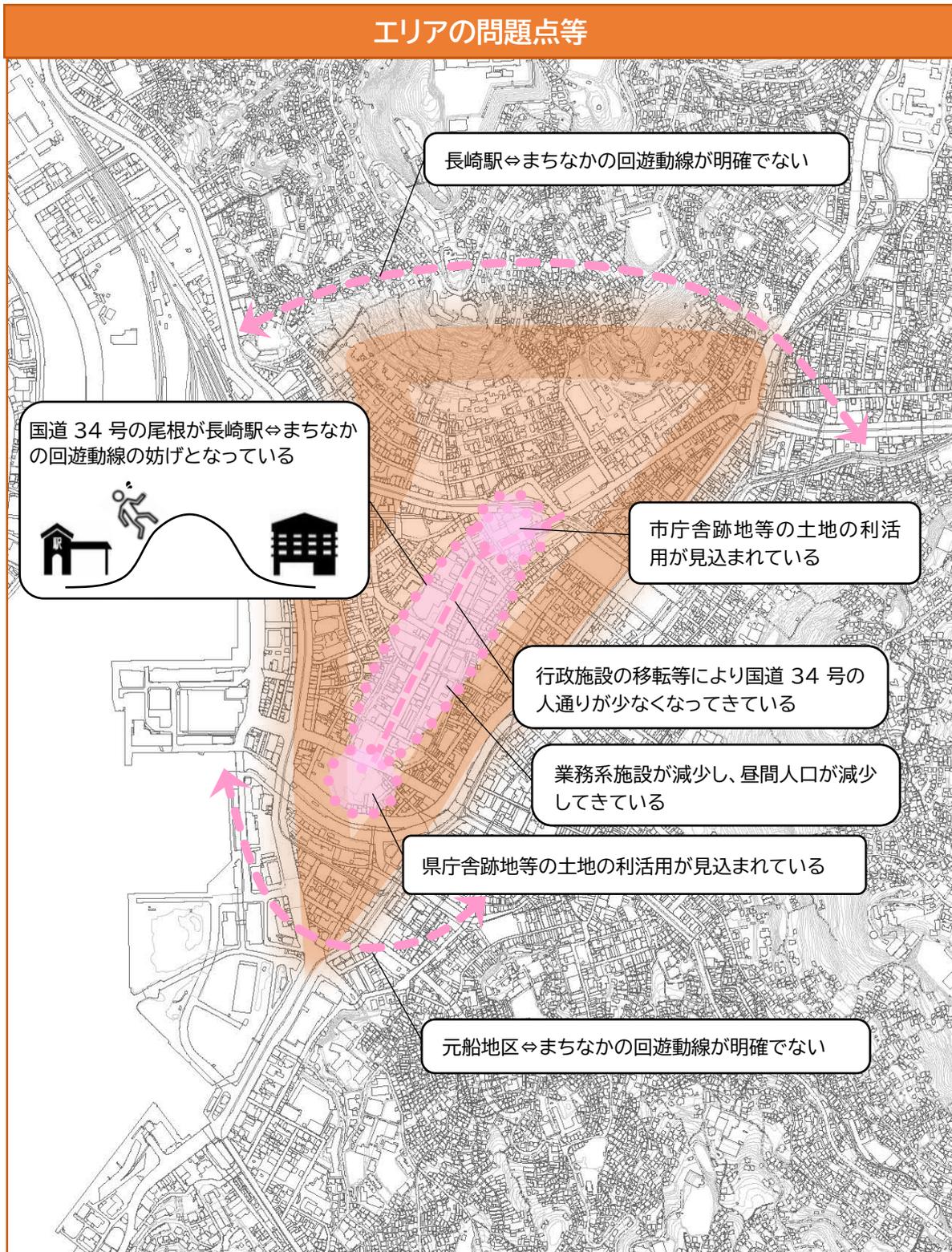
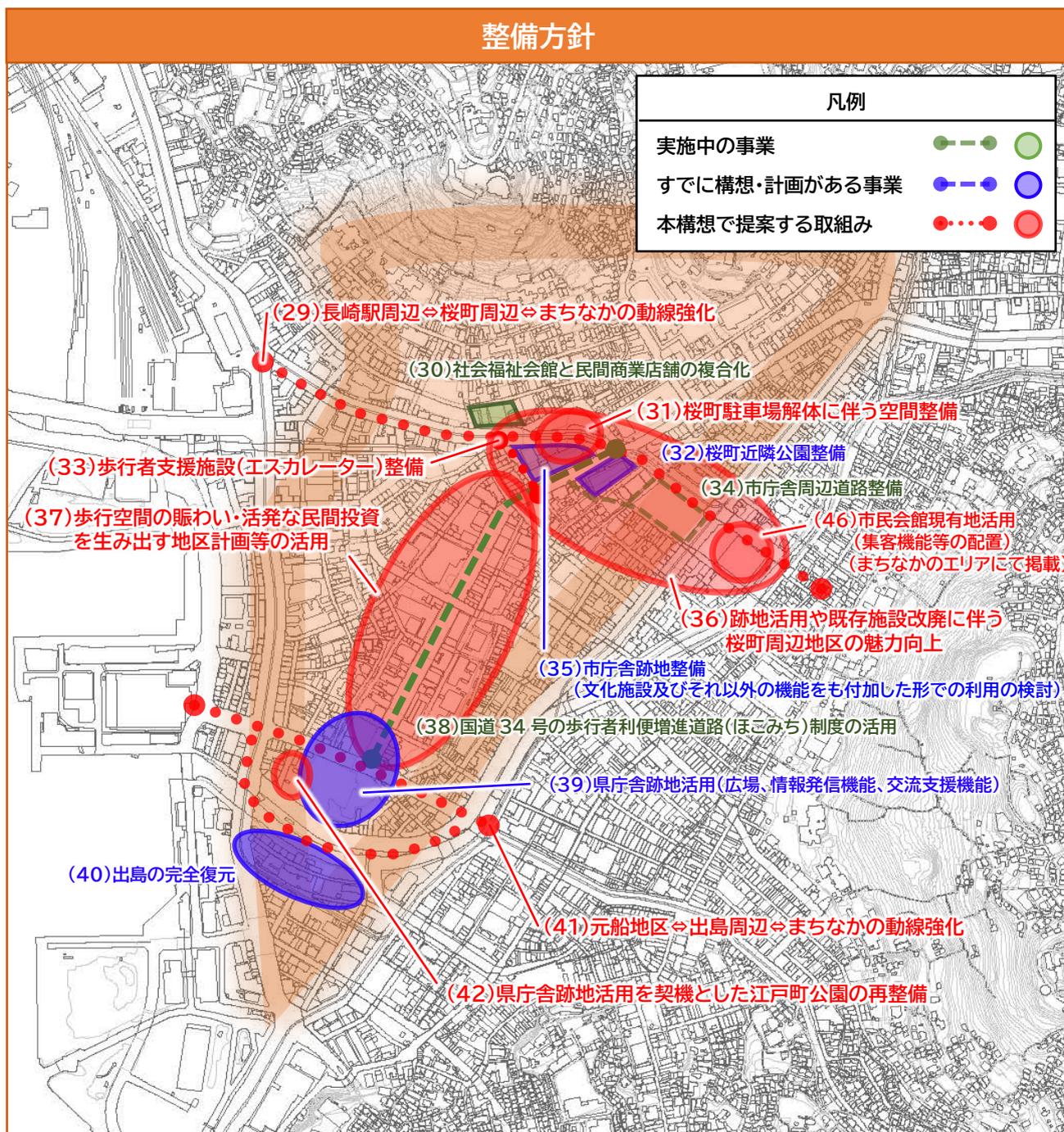


(1) エリアの問題点等



(2) 整備方針

エリアの位置づけ(再掲)	エリアの整備の方向性(再掲)
<p>各エリアの中心として、エリア間の人の流れを生み出すポンプ</p> <p>多くの昼間・関係人口が集積する都心部の骨格</p> <p>まちを創ってきた長崎発祥のエリア</p>	<p>メインストリートの新たな整備、活用により、道路自体が集客施設となる取組み</p> <p>多くの昼間・関係人口が集積するための都市計画制度等の運用</p> <p>川辺のエリア、海辺のエリア、まちなかのエリアとの連携強化</p>



(3) 「本構想で提案する取組み」の内容

(29) 長崎駅周辺⇄桜町周辺⇄まちなかの動線強化

● 概要

長崎駅周辺で生まれる賑わいを「まちなか」に波及させるためには、長崎駅周辺から桜町を經由して「まちなか」へ向かう動線の強化が必要です。そこで、長崎駅、桜町周辺、まちなかを結ぶ動線について、歩行空間に沿って緑陰を配置するなど、わかりやすく、魅力的な歩行者空間が必要と考えます。

● 実施時期：中長期的

● 関連性：問題解決へ向けての方策とエリアの整備の方向性との関連（着色部）

問題解決へ向けての方策（再掲）
回遊性の向上
回遊目的の創造
多様で柔軟な活用ができる土地利用への転換
都市基盤を活用する体制づくり
先進的なまちづくり施策の意欲的な展開

エリアの整備の方向性（再掲）
メインストリートの新たな整備、活用により、道路自体が集客施設となる取組み
多くの昼間・関係人口が集積するための都市計画制度等の運用
川辺のエリア、海辺のエリア、まちなかのエリアとの連携強化

● 現況写真



【桜町周辺】



【市民会館周辺の銀杏並木】

(31) 桜町駐車場解体に伴う空間整備

● 概要

長崎駅周辺から桜町を経由して「まちなか」へ向かう動線の強化にあたっては、魅力的な歩行者空間の確保に併せ、心理的・物理的なバリアとなっている国道34号周辺の高低差の解消と、中間点の桜町周辺における人を惹きつける空間の確保が必要です。

そのため、老朽化している桜町駐車場の解体に併せて、長崎駅からまちなかをグラウンドレベルで回遊できる歩行者動線や、隣接する桜町公園、市庁舎跡地を含めたエリアの魅力を向上させる空間の確保などが必要と考えます。

● 実施時期：中長期的

● 関連性：問題解決へ向けての方策とエリアの整備の方向性との関連（着色部）

問題解決へ向けての方策（再掲）
回遊性の向上
回遊目的の創造
多様で柔軟な活用ができる土地利用への転換
都市基盤を活用する体制づくり
先進的なまちづくり施策の意欲的な展開

エリアの整備の方向性（再掲）
メインストリートの新たな整備、活用により、道路自体が集客施設となる取組み
多くの昼間・関係人口が集積するための都市計画制度等の運用
川辺のエリア、海辺のエリア、まちなかのエリアとの連携強化

● 現況写真



【桜町駐車場】

(33) 歩行者支援施設(エスカレーター)整備

- 概要

長崎駅周辺から桜町を経由して「まちなか」へ向かう歩行者動線の強化には、国道34号周辺の尾根的地形が問題であり、「まちなか」への歩行者支援と、桜町のバス停、電停と市庁舎本館跡地、桜町近隣公園等のアクセシビリティ向上を図るため、市庁舎跡地整備と併せてエスカレーターの整備が必要と考えます。

- 実施時期：短期的

- 関連性：問題解決へ向けての方策とエリアの整備の方向性との関連（着色部）

問題解決へ向けての方策（再掲）
回遊性の向上
回遊目的の創造
多様で柔軟な活用ができる土地利用への転換
都市基盤を活用する体制づくり
先進的なまちづくり施策の意欲的な展開

エリアの整備の方向性（再掲）
メインストリートの新たな整備、活用により、道路自体が集客施設となる取組み
多くの昼間・関係人口が集積するための都市計画制度等の運用
川辺のエリア、海辺のエリア、まちなかのエリアとの連携強化

- 事例写真



【平和公園入口のエスカレーター】

(36) 跡地活用や既存施設改廃に伴う桜町周辺地区の魅力向上

- 概要

市庁舎跡地を含む桜町周辺地区は、長崎駅周辺とまちなかの中間地点というだけでなく、各エリアのハブとなる岬のエリアの中心に位置する重要な場所にあり、都心部全体の回遊性に大きく影響を与える地区であることから、今後、地区内にある公共施設等が耐用年数を迎え、土地利用を転換するタイミングをとらえて、桜町周辺地区全体が面的に魅力向上するような取組みを進めていく必要があると考えます。

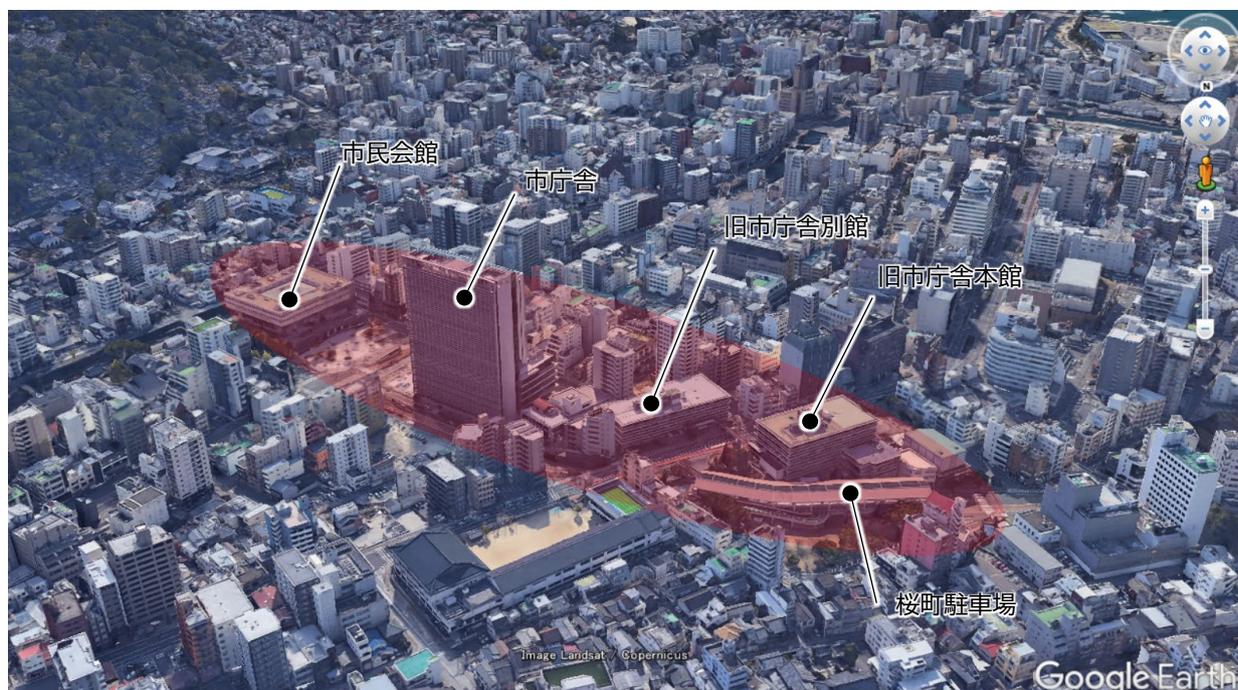
- 実施時期：中長期的

- 関連性：問題解決へ向けての方策とエリアの整備の方向性との関連（着色部）

問題解決へ向けての方策（再掲）
回遊性の向上
回遊目的の創造
多様で柔軟な活用ができる土地利用への転換
都市基盤を活用する体制づくり
先進的なまちづくり施策の意欲的な展開

エリアの整備の方向性（再掲）
メインストリートの新たな整備、活用により、道路自体が集客施設となる取組み
多くの昼間・関係人口が集積するための都市計画制度等の運用
川辺のエリア、海辺のエリア、まちなかのエリアとの連携強化

- 航空写真



【航空写真（出典：Google Earth）】

(37) 歩行空間の賑わい・活発な民間投資を生み出す地区計画等の活用

- 概要

岬のエリアの主要幹線道路である国道 34 号周辺は、その両端に位置していた県庁、市役所が移転し人通りが少なくなっています。国道 34 号周辺は、各エリアの中間に位置し、都心部全体の回遊のポンプとなるべき岬のエリアの中心軸であるため、低層階で歩行者空間の賑わいにつながる土地利用をする場合に容積率の上乗せをできる地区計画等が必要と考えます。

- 実施時期：短期的

- 関連性：問題解決へ向けての方策とエリアの整備の方向性との関連（着色部）

問題解決へ向けての方策（再掲）
回遊性の向上
回遊目的の創造
多様で柔軟な活用ができる土地利用への転換
都市基盤を活用する体制づくり
先進的なまちづくり施策の意欲的な展開

エリアの整備の方向性（再掲）
メインストリートの新たな整備、活用により、道路自体が集客施設となる取組み
多くの昼間・関係人口が集積するための都市計画制度等の運用
川辺のエリア、海辺のエリア、まちなかのエリアとの連携強化

- 現況写真



【国道 34 号】

(41) 元船地区⇔出島周辺⇔まちなかの動線強化

- 概要

今後、再整備が予定されている元船地区で生まれる賑わいを「まちなか」まで波及させる回遊動線の強化が必要と考えます。

- 実施時期：短期的

- 関連性：問題解決へ向けての方策とエリアの整備の方向性との関連（着色部）

問題解決へ向けての方策（再掲）
回遊性の向上
回遊目的の創造
多様で柔軟な活用ができる土地利用への転換
都市基盤を活用する体制づくり
先進的なまちづくり施策の意欲的な展開

エリアの整備の方向性（再掲）
メインストリートの新たな整備、活用により、道路自体が集客施設となる取組み
多くの昼間・関係人口が集積するための都市計画制度等の運用
川辺のエリア、海辺のエリア、まちなかのエリアとの連携強化

- 現況写真



【出島表門橋公園】

(42) 県庁舎跡地活用を契機とした江戸町公園の再整備

● 概要

県庁舎跡地整備基本構想（長崎県：R4 策定）では、「石垣下の敷地を有効に活用するため、隣接している出島との連携、江戸町公園との一体的な利活用等に留意し、利用者の利便性の向上等にも配慮しながら、長崎市との連携による効果的な賑わいづくりや運用のあり方について検討する」とされており、県庁舎跡地活用と一体的に活用し、効果的な賑わいづくりができるような公園として整備する必要があると考えます。

● 実施時期：短期的

● 関連性：問題解決へ向けての方策とエリアの整備の方向性との関連（着色部）

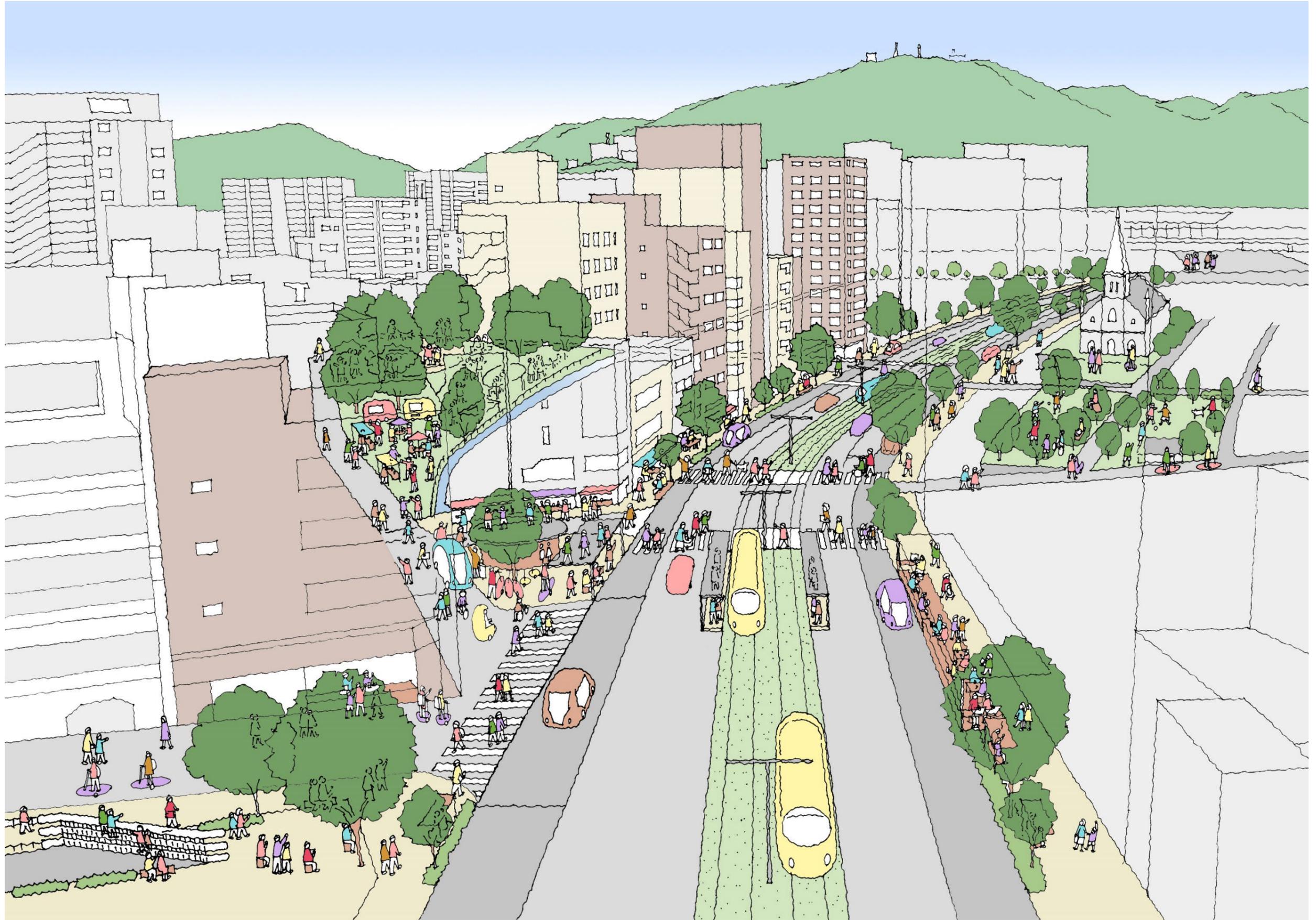
問題解決へ向けての方策（再掲）
回遊性の向上
回遊目的の創造
多様で柔軟な活用ができる土地利用への転換
都市基盤を活用する体制づくり
先進的なまちづくり施策の意欲的な展開

エリアの整備の方向性（再掲）
メインストリートの新たな整備、活用により、道路自体が集客施設となる取組み
多くの昼間・関係人口が集積するための都市計画制度等の運用
川辺のエリア、海辺のエリア、まちなかのエリアとの連携強化

● 現況写真

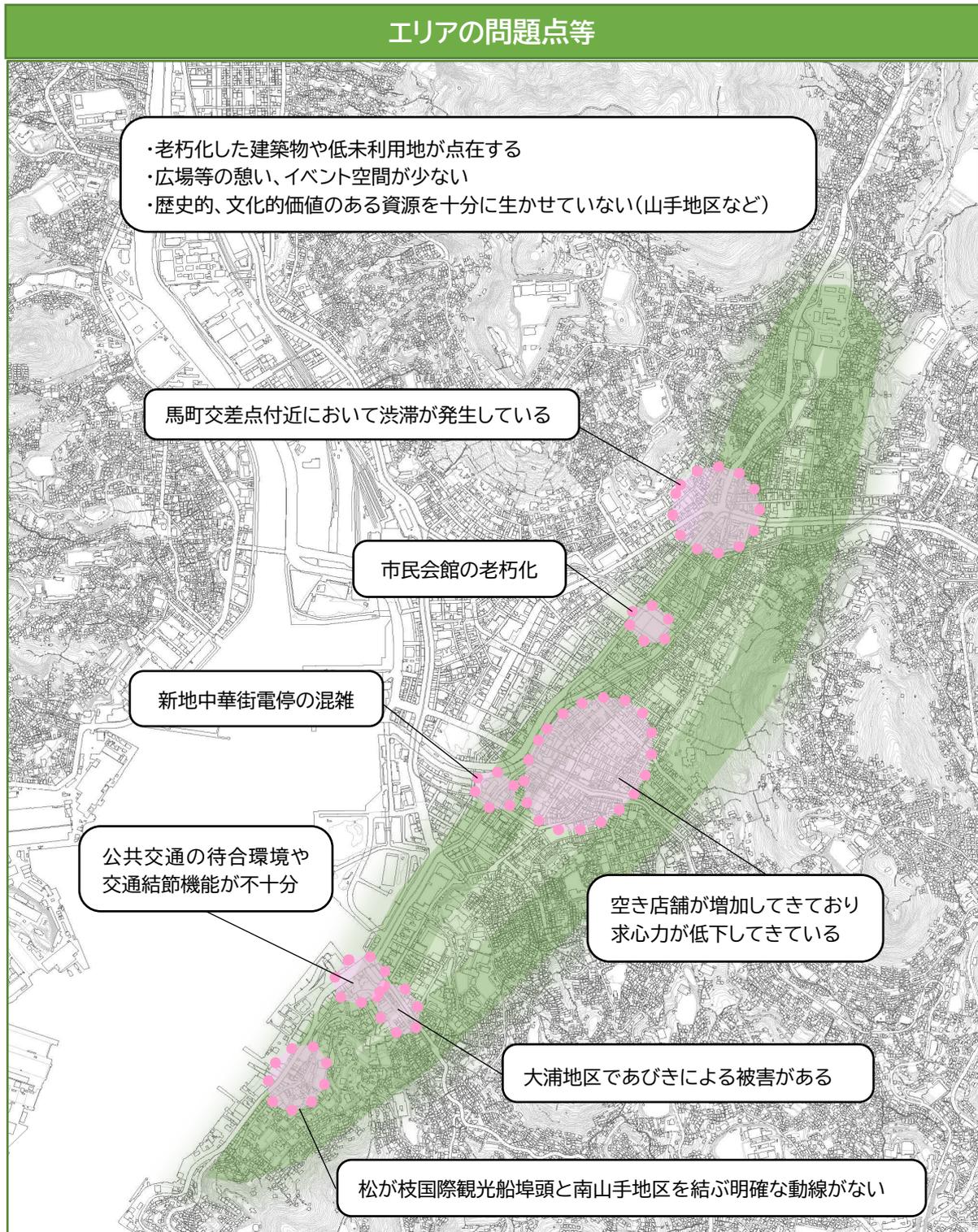


【江戸町公園】





(1) エリアの問題点等



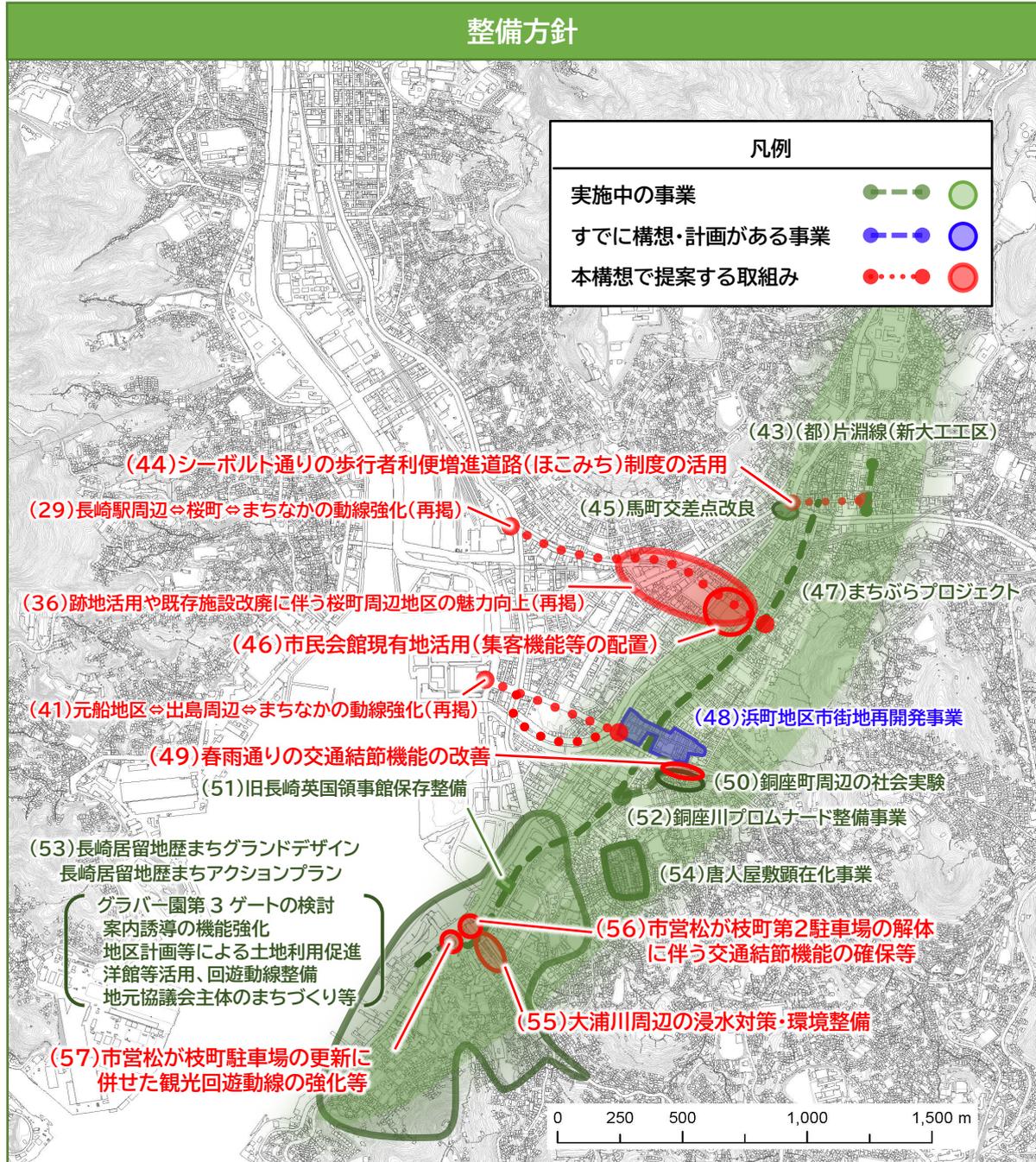
(2) 整備方針

エリアの位置づけ(再掲)

歴史・文化や伝統に培われた長崎の母屋
長崎特有の魅力や新たな集客コンテンツによる賑わい

エリアの整備の方向性(再掲)

新たな集客コンテンツの創造
賑わい再生に向けた土地利用の転換
自然、歴史、文化を身近に感じられる日常空間の整備
まちなか軸の更なる回遊性向上と海辺のエリア、岬のエリアとの連携強化



(3) 「本構想で提案する取組み」の内容

(44) シーボルト通りの歩行者利便増進道路(ほこみち)制度の活用

● 概要

シーボルト通りにある新大工町商店街は、この通りを活用して、様々なイベントを企画・開催されていることから、今後も、これらの取組みがより活発に行われていくように、シーボルト通りを歩行者利便増進道路（通称：ほこみち）に指定し、さらなる利活用を促進していく必要があると考えます。

● 実施時期：短期的

● 関連性：問題解決へ向けての方策とエリアの整備の方向性との関連（着色部）

問題解決へ向けての方策（再掲）
回遊性の向上
回遊目的の創造
多様で柔軟な活用ができる土地利用への転換
都市基盤を活用する体制づくり
先進的なまちづくり施策の意欲的な展開

エリアの整備の方向性（再掲）
新たな集客コンテンツの創造
賑わい再生に向けた土地利用の転換
自然、歴史、文化を身近に感じられる日常空間の整備
まちなか軸の更なる回遊性向上と海辺のエリア、岬のエリアとの連携強化

● 現況写真



【シーボルト通り】

(46) 市民会館現有地活用(集客機能等の配置)

● 概要

市民会館は、建築して50年が経過しており、建て替えを含め今後の在り方について検討する時期となっています。

当該地は、長崎駅とまちなかをつなぐ重要な場所に位置しており、その活用は、都心部の活力に大きな影響を与えることから、恒常的に人が訪れるような集客機能の配置が必要と考えます。

● 実施時期：中長期的

● 関連性：問題解決へ向けての方策とエリアの整備の方向性との関連（着色部）

問題解決へ向けての方策（再掲）
回遊性の向上
回遊目的の創造
多様で柔軟な活用ができる土地利用への転換
都市基盤を活用する体制づくり
先進的なまちづくり施策の意欲的な展開

エリアの整備の方向性（再掲）
新たな集客コンテンツの創造
賑わい再生に向けた土地利用の転換
自然、歴史、文化を身近に感じられる日常空間の整備
まちなか軸の更なる回遊性向上と海辺のエリア、岬のエリアとの連携強化

● 現況写真



【市民会館】

(49) 春雨通りの交通結節機能の改善

● 概要

春雨通りは、「まちなか」の中心となる道路であり、その沿道にある思案橋商店街付近から背後の銅座町に向けて銅座川プロムナードが整備されることから、その交差点付近にバス停、電停、タクシー乗り場を集約することにより、公共交通機関の利便性向上と地域の活力や賑わい創出を図る必要があると考えます。

● 実施時期：中長期的

● 関連性：問題解決へ向けての方策とエリアの整備の方向性との関連（着色部）

問題解決へ向けての方策（再掲）
回遊性の向上
回遊目的の創造
多様で柔軟な活用ができる土地利用への転換
都市基盤を活用する体制づくり
先進的なまちづくり施策の意欲的な展開

エリアの整備の方向性（再掲）
新たな集客コンテンツの創造
賑わい再生に向けた土地利用の転換
自然、歴史、文化を身近に感じられる日常空間の整備
まちなか軸の更なる回遊性向上と海辺のエリア、岬のエリアとの連携強化

● 現況写真



【航空写真】

(55) 大浦川周辺の浸水対策・環境整備

● 概要

大浦川周辺の地区は、埋立地で地盤が低く、潮位の影響を受けやすいことから「あびき※」や大潮などで潮位が上昇する際に周辺の道路や建物の敷地に度々浸水被害が発生しています。一方で、この地区は長崎市の主要な観光地である東山手と南山手をつなぐ重要な位置にありますので、観光地としての環境整備と浸水対策を兼ねた面的な防災対策が必要と考えます。

● 実施時期：中長期的

● 関連性：問題解決へ向けての方策とエリアの整備の方向性との関連（着色部）

問題解決へ向けての方策（再掲）
回遊性の向上
回遊目的の創造
多様で柔軟な活用ができる土地利用への転換
都市基盤を活用する体制づくり
先進的なまちづくり施策の意欲的な展開

エリアの整備の方向性（再掲）
新たな集客コンテンツの創造
賑わい再生に向けた土地利用の転換
自然、歴史、文化を身近に感じられる日常空間の整備
まちなか軸の更なる回遊性向上と海辺のエリア、岬のエリアとの連携強化

● 状況写真



【浸水被害の状況写真】

※あびきとは、気圧のわずかな変化によって生じた外洋の海面変動が入江に進入して共振・増幅し、短時間のうちに潮位が変動する現象である。網を曳くほどの強さの流れによって漁が妨げられたことから「あびき」と呼ばれるようになったと言われている。

(56) 市営松が枝町第2駐車場の解体に伴う交通結節機能の確保等

● 概要

市営松が枝町第2駐車場は、「長崎市公共施設の適正配置基準（長崎市：R5 策定）」において、松が枝埠頭の2バース事業の中でバス駐車場機能が確保された場合は、解体することとされています。

その場合は、大浦川周辺地区の面的整備と調整を図りながら、路面電車や路線バス、観光バス、タクシーの交通結節点として整備する必要があると考えます。

● 実施時期：中長期的

● 関連性：問題解決へ向けての方策とエリアの整備の方向性との関連（着色部）

問題解決へ向けての方策（再掲）
回遊性の向上
回遊目的の創造
多様で柔軟な活用ができる土地利用への転換
都市基盤を活用する体制づくり
先進的なまちづくり施策の意欲的な展開

エリアの整備の方向性（再掲）
新たな集客コンテンツの創造
賑わい再生に向けた土地利用の転換
自然、歴史、文化を身近に感じられる日常空間の整備
まちなか軸の更なる回遊性向上と海辺のエリア、岬のエリアとの連携強化

● 現況写真



【市営松が枝町第2駐車場】

(57) 市営松が枝町駐車場の更新に併せた観光回遊動線の強化等

● 概要

市営松が枝町駐車場に駐車するバスによって、国道499号からグラバー園、大浦天主堂方面への眺望が阻害されていることから、松が枝埠頭の2バース事業の中でバス駐車場機能が確保され、市営松が枝町駐車場の更新等が行われる際には、現在、同駐車場内にある観光客の歩行者動線を再整備する必要があると考えます。

● 実施時期：中長期的

● 関連性：問題解決へ向けての方策とエリアの整備の方向性との関連（着色部）

問題解決へ向けての方策（再掲）
回遊性の向上
回遊目的の創造
多様で柔軟な活用ができる土地利用への転換
都市基盤を活用する体制づくり
先進的なまちづくり施策の意欲的な展開

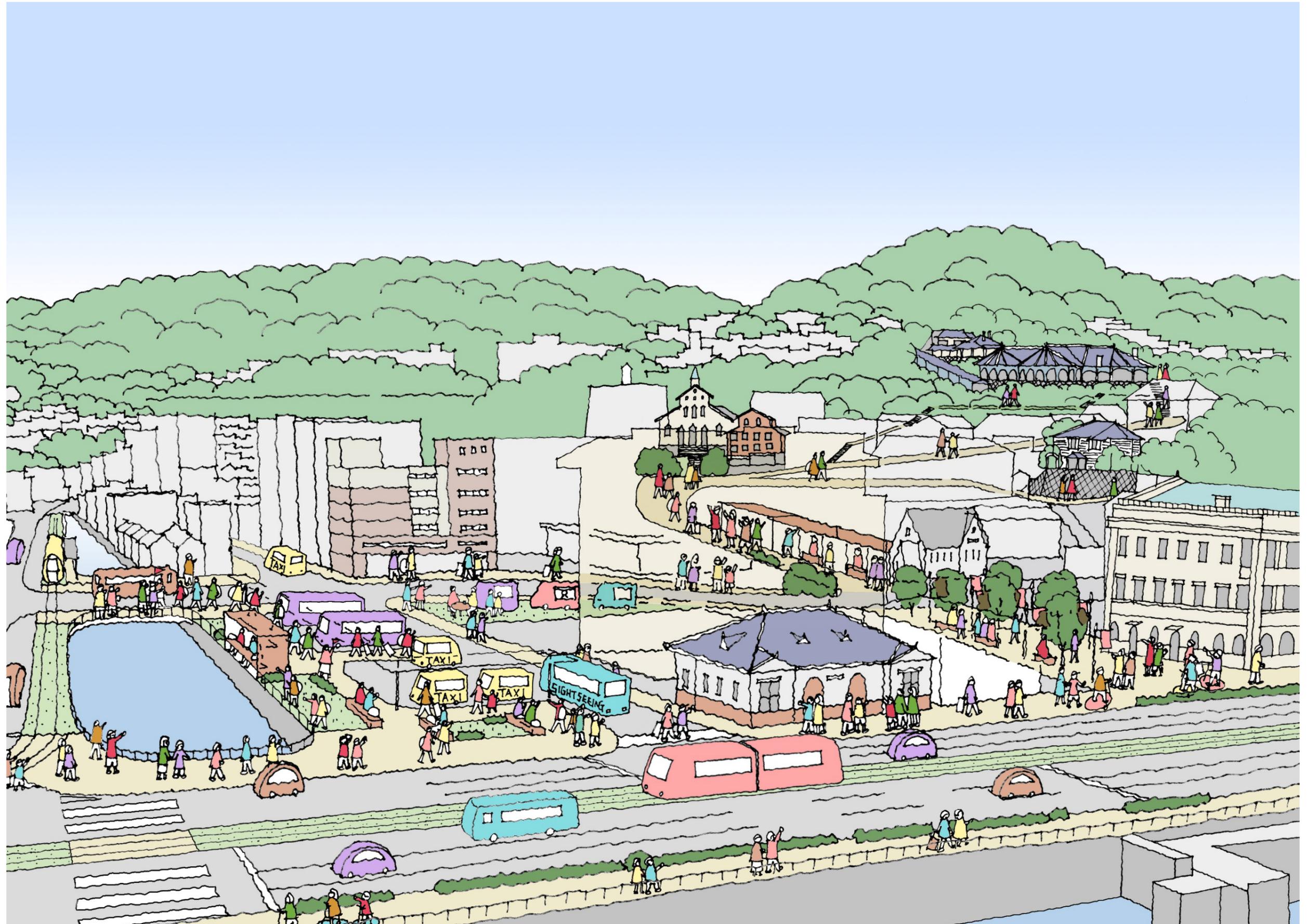
エリアの整備の方向性（再掲）
新たな集客コンテンツの創造
賑わい再生に向けた土地利用の転換
自然、歴史、文化を身近に感じられる日常空間の整備
まちなか軸の更なる回遊性向上と海辺のエリア、岬のエリアとの連携強化

● 現況写真



【市営松が枝町駐車場】





6

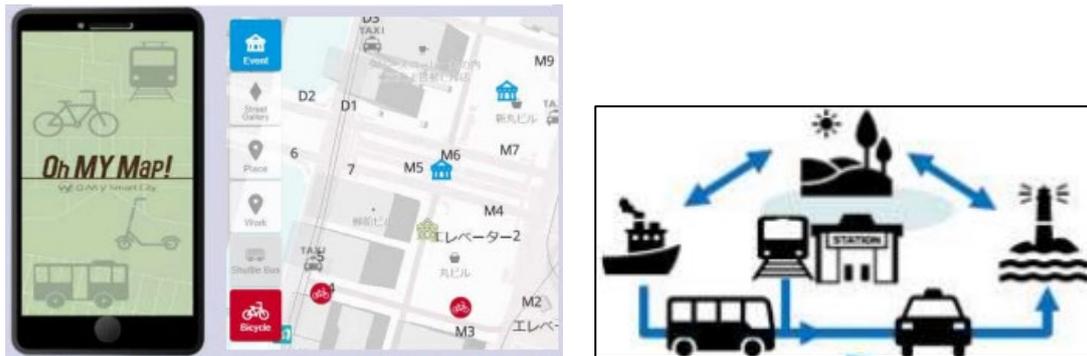
都心部全体での取組み

各エリアに限定することなく、都心部全体で取り組むことを次のとおり示します。

① 回遊経路を明確にする情報発信

● 概要

目的地までの経路がわかりやすくなるよう、バリアフリーに配慮した誰にでもわかりやすい案内サインなどの情報発信機能を向上させます。



【アプリなどによる回遊経路の表示（出典：国土交通省 HP）】

アプリでまちなかの混雑情報や混雑回避ルートを表示し、併せてイベントやお店の情報などを案内している。

② 公共交通機関の利便性向上

● 概要

都心部内を公共交通等を使って回遊しやすくなるよう、車両や停留所のバリアフリー化、行先案内板及び運行情報掲示板の整備等、公共交通機関の利便性向上を図る基盤整備等を推進します。



【行先案内板（出典：東京都 HP）】

地下鉄からバスに乗り換える利用者に対して、バスの発車時刻、乗り場、路線・系統図等を駅構内でデジタルサイネージにより案内している。

③ 防災機能の向上

● 概要

コンパクトシティを進めるうえで都市の安全性の確保は極めて重要な要素です。災害廃棄物を仮置きするためのストックヤードの確保、避難路・避難場所の確保、防災倉庫、老朽建築物の更新など市民、来訪者が安全、安心に生活できるために防災機能を向上していきます。



【防災倉庫やAIカメラ（出典：国土交通省 HP）】
有事の際に使用する防災倉庫や最新技術を活用することで防災機能を強化している。

④ 公共空間を支援する仕組みづくり

● 概要

働く、住む、観光する、学ぶ、遊ぶなど、様々な都市の営みが充実するよう、公共空間の利活用を通じて、新たな賑わいと活力につながる活動へのチャレンジなど、公共空間の利活用を支援する仕組みを構築します。

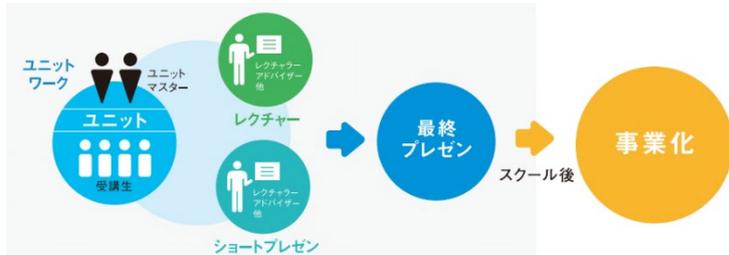
ボール遊び できます	ストリート・スポーツ できます	火の使用 できます	音楽演奏 できます	イベント できます	出店・販売 できます
自由使用 コンクリートエリア	自由使用 コンクリートエリア	自由使用 築山・土エリア	行為使用 全エリア	占有使用 全エリア	占有使用 全エリア
大人数やイベント時、 設置物を置く場合は 占有承認申請が必要です	大人数やイベント時、 設置物を置く場合は 占有承認申請が必要です	大人数やイベント時、 設置物を置く場合は 占有承認申請が必要です	目的に応じて 行為使用の届出又は、 占有承認申請が必要です。	占有承認申請が必要です。 また内容によって 各種許認可が必要です。	占有承認申請が必要です。 また内容によって 各種許認可が必要です。

【新とよパークの利用に係わるルールの明示（出典：国土交通省 HP）】
豊田市の新とよパークでは、活動の種類ごとの事前申請の必要有無や、活動が可能なエリアなどを整理している。これにより利用に係る手続きのハードルを下げ、広場利用が促進されている。

⑤ 都市活動を担うプレイヤーの育成

● 概要

社会実験や官民連携によるまちづくり講座等、様々な媒体手法を活用して、賑わいと活力を生み出す活動を担うプレイヤーの発掘や応援等を行います。



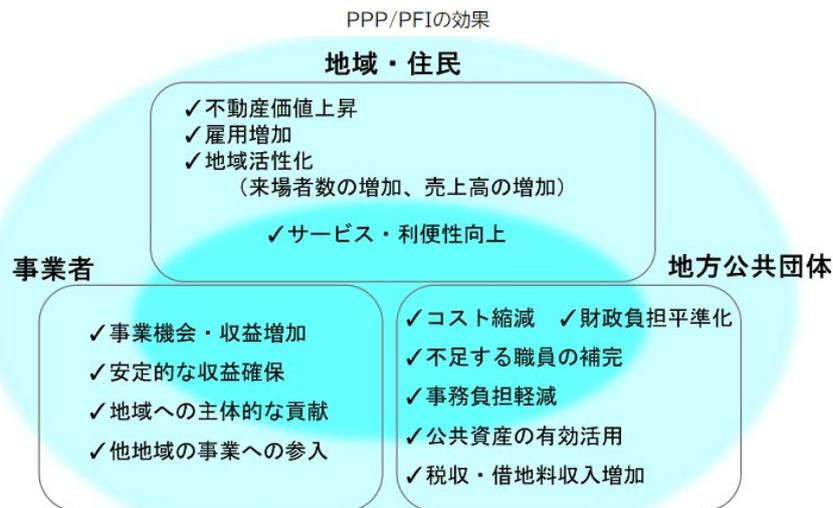
【リノベーションスクール（出典：国土交通省 HP）】

北九州市では、リノベーションによるまちづくりを進めており、リノベーションスクールでは、実際の空き物件を対象に受講生がチームを組んでまちの未来を考えている。受講生は、リノベーションの事業プランを練り上げ、最終日に不動産オーナーに提案し、スクール後は事業化を目指している。

⑥ 産学官の緊密な連携

● 概要

賑わいと活力の向上につながる産学官連携のプラットフォームを構築するなど、緊密に連携を行い、まちづくりを推進します。



【PPP/PFI の効果（出典：国土交通省 HP）】

PPP (Public Private Partnership) や PFI (Private Finance Initiative) により、良質な公共サービスの提供やコスト削減、地域活性化など、様々な効果が期待できる。今後の地域経済の持続的な発展に向けて、このような官民連携手法の積極的な導入検討が求められている。

⑦ 最新の情報技術等を活用した情報発信等

● 概要

最新の情報技術等を活用し、移動経路の最適化や、指向に即した回遊動線の提案など、回遊の行動に関して影響を与える情報発信や、円滑な買い回りを促進するための情報基盤等を充実させます。



【未来の情報発信のイメージ（出典：国土交通省 HP）】

デジタル案内やスマホアプリなどによって多言語に対応した道やまちの案内が可能となる。

⑧ 移動支援モビリティの持続可能な運用

● 概要

移動支援モビリティの通行帯やモビリティポート設置に必要な余地の確保、社会実験の場として公共空間を提供するなど、都心部における移動支援モビリティの有効活用を見据えた都市基盤の在り方等を検討していきます。



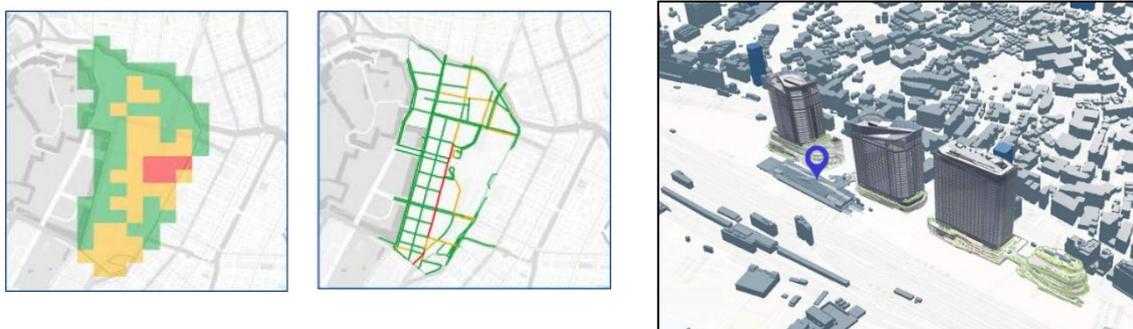
【モビリティの社会実験の例（出典：国土交通省）】

千葉市では電動キックボードのシェアリング社会実験、東京都千代田区では公道を活用した小型モビリティの社会実験が実施された。

⑨ 時代変化に応じた新技術や社会実験等を活用したポテンシャル・ニーズの把握

● 概要

人流データや3D都市モデルなどのICT技術の活用や、実際の現場で行う社会実験など、その時代に応じた先進技術・手法等を活用して、地域が持つポテンシャルや、都市活動のニーズを的確に把握していきます。



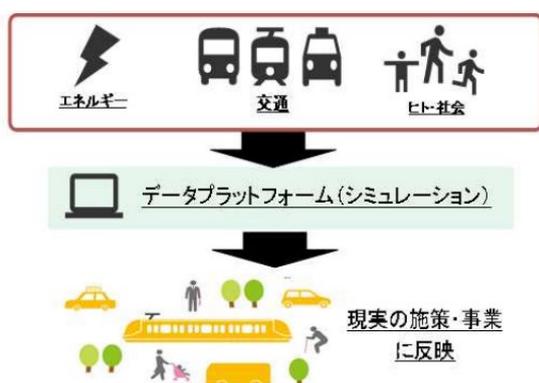
【人流データや3D都市モデル（出典：国土交通省 HP）】

各種統計や交通データ、災害リスク情報等の多様なデータと組み合わせ、可視化、データ分析、空間解析などに用いることができる。

⑩ 地域のポテンシャル・ニーズを効果的にまちづくり施策に反映させる仕組みづくり

● 概要

把握した地域のポテンシャルや都市活動のニーズを、ICT技術等を活かした地域のマネジメントや、新たな活力を生み出すビジネスの創出など、地域が持つ社会課題の解決につなげる仕組みを検討していきます。

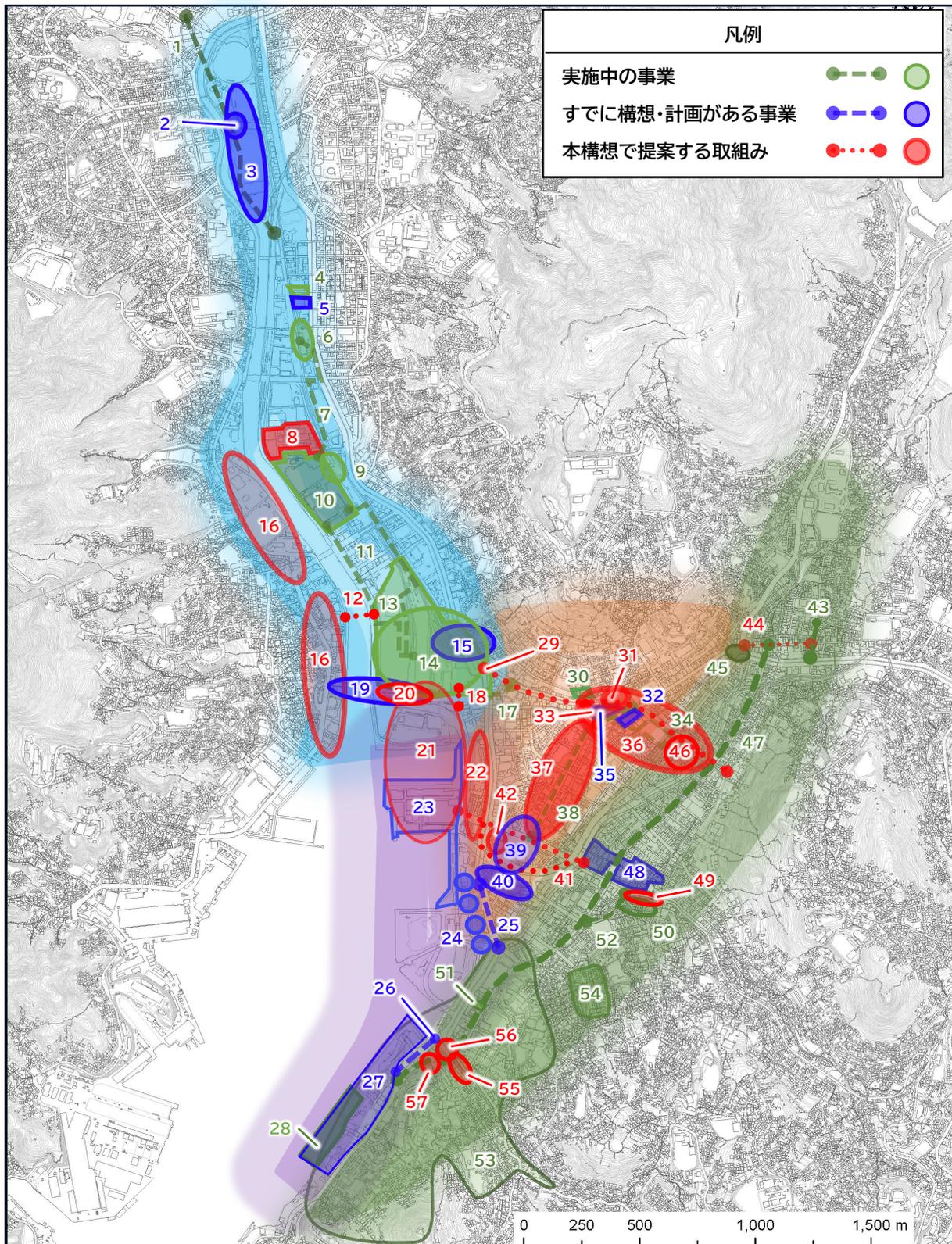


【データプラットフォーム（出典：国土交通省 HP）】

宇都宮市のUスマート推進協議会では、横断的に収集したビッグデータの活用により、サイバー空間上でソフト・ハード両面でまちづくりの取組を複合的にシミュレーションし、その結果を実際の取組としてフィジカル空間に反映させる仕組みを構築できるよう検討を進めている。

整備方針（全体）

対象区域全体の整備方針を次のとおり示します。



【川辺のエリア】

実施中の事業

- (1) 長崎南北幹線道路
- (4) 川口アパート建替事業
- (6) 浦上駅前広場再整備
- (7) 浦上駅⇨長崎スタジアムシティ歩行者動線
- (9) (仮称)若者ひろば
- (10) 長崎スタジアムシティ
- (11) 長崎駅⇨長崎スタジアムシティ歩行者動線
- (13) 長崎駅周辺土地区画整理事業
- (14) 長崎駅周辺エリアマネジメント
- (17) (都)大黒町恵美須町線

すでに構想・計画がある事業

- (2) 長崎南北幹線道路とのアクセス強化
- (3) 平和公園再整備基本計画
- (5) 川口公園再整備事業
- (15) 長崎駅周辺の交通結節機能強化
- (19) 旭大橋の低床化

本構想で提案する取組み

- (8) 中部下水処理場跡地活用
(防災も含めた多目的な使い方ができる空間整備)
- (12) 長崎駅周辺⇨浦上川右岸の新たな動線確保
- (16) 浦上川右岸の土地利用転換
(土地の高度利用を促す用途地域の変更等)
- (18) 長崎駅周辺⇨元船地区の新たな動線確保
- (20) 高架下の暫定利用(検討中)

【海辺のエリア】

実施中の事業

- (28) 松が枝国際観光光船埠頭の2バス化事業

すでに構想・計画がある事業

- (23) 元船地区整備構想
- (24) 長崎南北幹線道路
- (25) 長崎駅⇨松が枝方面をつなぐ公共交通の直通化
(路面電車の短絡軌道等)
- (26) 路面電車の延伸
- (27) 松が枝周辺地区整備構想(エントランス空間整備等)

本構想で提案する取組み

- (21) 長崎駅周辺⇨県庁舎周辺⇨元船地区の
一体的な賑わい創出
- (22) 元船地区周辺の土地利用の転換(地区計画等
による高次な土地利用を促進する施策)

【岬のエリア】

実施中の事業

- (30) 社会福祉会館と民間商業店舗の複合化
- (34) 市庁舎周辺道路整備
- (38) 国道34号の歩行者利便増進道路
(ほこみち)制度の活用

すでに構想・計画がある事業

- (32) 桜町近隣公園整備
- (35) 市庁舎跡地整備(文化施設及びそれ以外の機能をも付加した形で利用の検討)
- (39) 県庁舎跡地活用
(広場、情報発信機能、交流支援機能)
- (40) 出島の完全復元

本構想で提案する取組み

- (29) 長崎駅周辺⇨桜町周辺⇨まちなかの動線強化
- (31) 桜町駐車場解体に伴う空間整備
- (33) 歩行者支援施設(エスカレーター)整備
- (36) 跡地活用や既存施設改廃に伴う桜町周辺地区
の魅力向上
- (37) 歩行空間の賑わい・活発な民間投資を
生み出す地区計画等の活用
- (41) 元船地区⇨出島周辺⇨まちなかの動線強化
- (42) 県庁舎跡地活用を契機とした江戸町公園の再整備

【まちなかのエリア】

実施中の事業

- (43) (都)片淵線(新大工工区)
- (45) 馬町交差点改良
- (47) まちぶらプロジェクト
- (50) 銅座町周辺の社会実験
- (51) 旧長崎英国領事館保存整備
- (52) 銅座川プロムナード整備事業
- (53) 長崎居留地歴まちランドデザイン
長崎居留地歴まちアクションプラン
- (54) 唐人屋敷顕在化事業

すでに構想・計画がある事業

- (48) 浜町地区市街地再開発事業

本構想で提案する取組み

- (44) シーボルト通りの歩行者利便増進道路
(ほこみち)制度の活用
- (46) 市民会館現有地活用(集客機能等の配置)
- (49) 春雨通りの交通結節機能の改善
- (55) 大浦川周辺の浸水対策・環境整備
- (56) 市営松が枝町第2駐車場の解体に伴う
交通結節機能の確保等
- (57) 市営松が枝町駐車場の更新に併せた
観光回遊動線の強化等

都心部全体での取組み

- ① 回遊経路を明確にする情報発信
- ② 公共交通機関の利便性向上
- ③ 防災機能の向上
- ④ 公共空間を支援する仕組みづくり
- ⑤ 都市活動を担うプレイヤーの育成
- ⑥ 産学官の緊密な連携
- ⑦ 最新の情報技術等を活用した情報発信等
- ⑧ 移動支援モビリティ等の持続可能な運用
- ⑨ 時代変化に応じた新技術や社会実験等を活用したポテンシャル・ニーズの把握
- ⑩ 地域のポテンシャル・ニーズを効果的にまちづくり施策に反映させる仕組みづくり

将来のまちのイメージ（都心部全体）

※このパースはイメージであり関係機関等との協議により変更となる場合があります。



本構想は、2024年（令和6年）時点の状況を踏まえ策定したものです。目標年次である2050年（令和32年）に至るまでの間、必要に応じPDCAサイクルを用いて本構想の評価・検証を行い、今後の社会情勢の変化等に応じて、適宜見直しを行ってまいります。

なお、軽微な修正は、関係機関等と協議しながら必要に応じて適宜行います。

※軽微な修正：各事業等の実施期間、文言等の修正等

※構想の見直し：社会情勢の変化を受け大きな方向性を見直し等

